

試験結果報告書

No.217F-2821
平成29年1月12日

遠赤外線応用研究会

〒542-0081 大阪市中央区南船場4-9-11

試験項目 マイナスイオン発生量を確認するため、未照射時を対照として、比較検証する。

試験試料 ノーマル分電盤+LEDライト
テラ加工分電盤+LEDライト

試験条件 1) 試験日時 平成28年12月28日～29日
2) 試験環境 平均室温22℃ 平均湿度42%
3) 測定機器 神戸電波製 ION TESTER KST-900型

試験方法 ライト未照射状態でのマイナスイオン量を測定する。
次に、ノーマル分電盤+LEDライトを点灯し、点灯30分後に4cmの距離にて測定する。テラ加工分電盤+LEDライトも同様に測定した。

試験結果 マイナスイオン発生量測定値

	測定値(個/cc)	
	照射前	照射30分後
ノーマル分電盤 +LEDライト	47	54
テラ加工分電盤 +LEDライト	47	101

試験結果報告書

No.217E- 359
平成29年1月12日

遠赤外線応用研究会

〒542-0081大阪市中央区南船場4-9-11

試験試料 ノーマル分電盤+LEDライト
テラ加工分電盤+LEDライト

測定環境 1) 測定日時 平成28年12月28～29日
2) 測定環境 平均室温22℃ 平均湿度42%
3) 測定機器 生体信号処理装置 フットテクノ製 ALPHA MASTER

測定

健常な成年女性（56才）を被験者とし、測定環境に30分間慣らした後、まずライト未照射状態で1分間の脳波を測定した。次いで、ノーマル分電盤+LEDライトを点灯し、顔側面50cmの距離から120分照射し、直後の1分間の脳波を測定した。テラ加工分電盤+LEDライトも同様に測定した。

国際脳波学会用語委員会により、定められた脳波の各周波数は次の如くである。

θ波：4Hz以上8Hz以下のもの
α波：8Hz以上で13Hz以下のもの
β波：13Hzより高いもの

結果

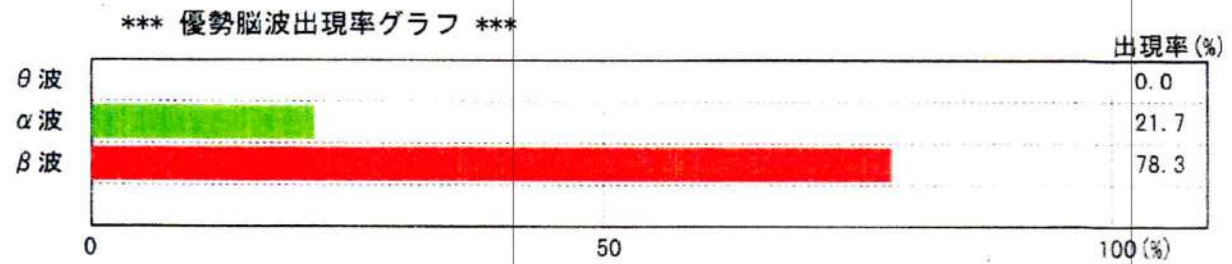
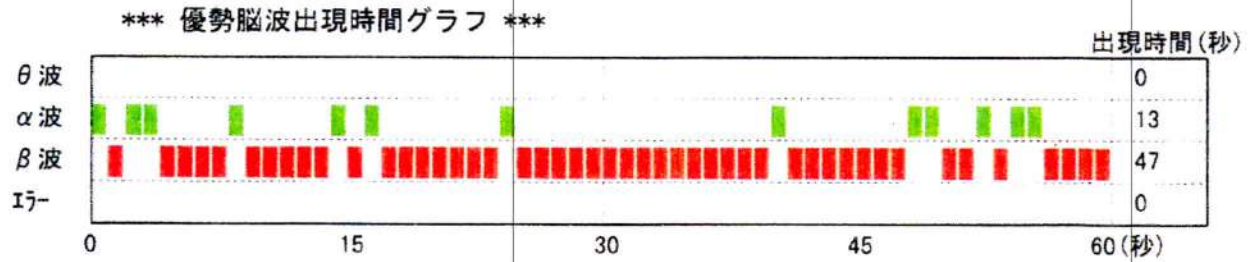
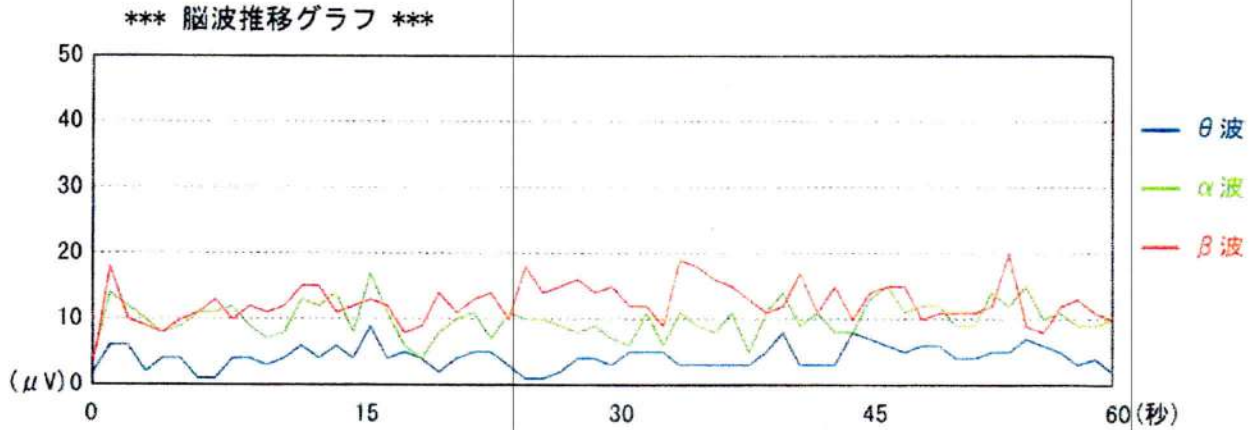
	θ波	α波	β波	α波の増減値
ライト未照射時	0.0	21.7	78.3	-
ノーマル分電盤+LEDライト	0.0	28.3	71.7	6.6
テラ加工分電盤+LEDライト	8.3	35.0	51.7	13.3

(単位:%)

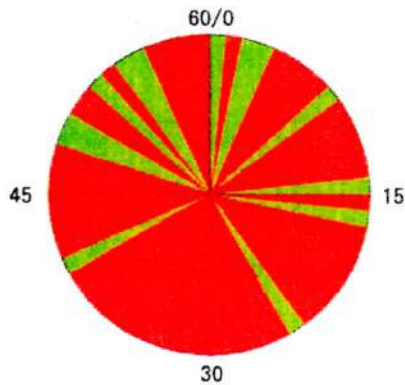
<脳波測定結果>

ライト未照射時

測定日:2016/12/28 測定時間:10:11:17



** 優勢脳波出現時間 **



** 優勢脳波出現率 **

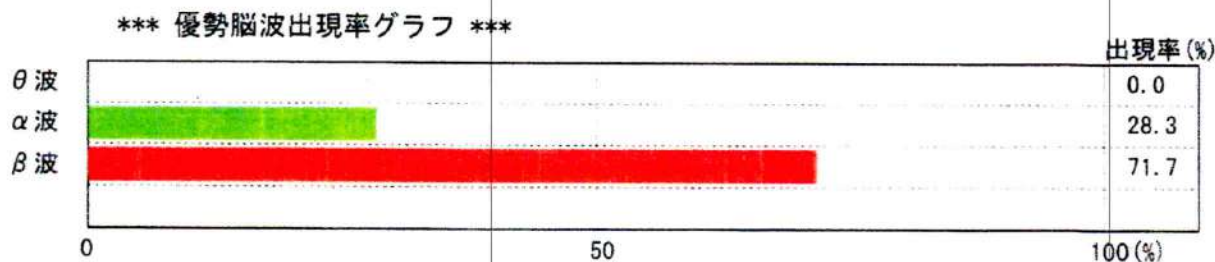
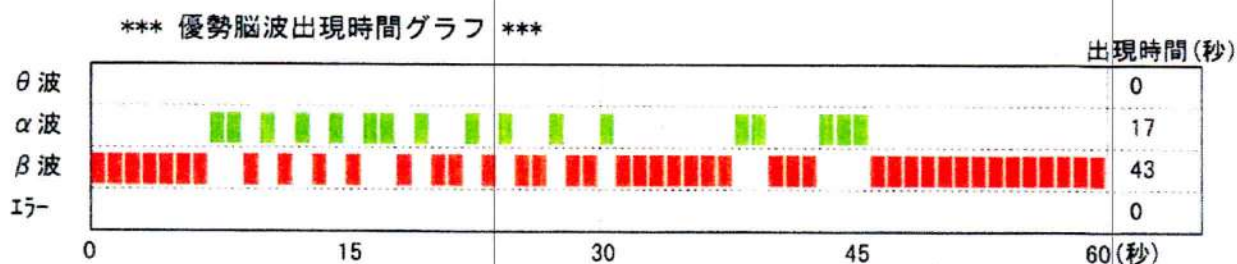
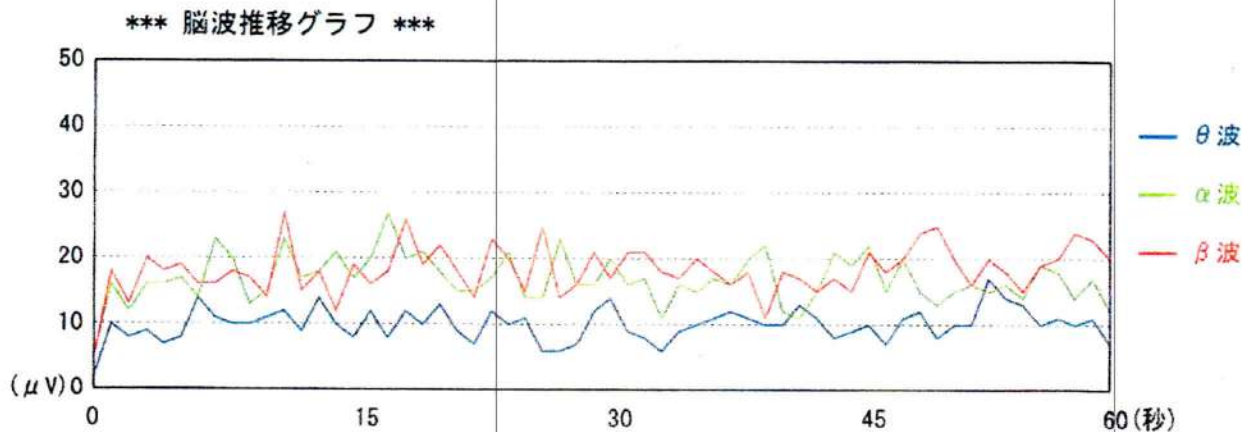


	出現率 %	MAX (μV)	平均 (μV)
θ波	0.0	9.0	4.3
α波	21.7	17.0	10.2
β波	78.3	20.0	12.6
1̄-	0.0		

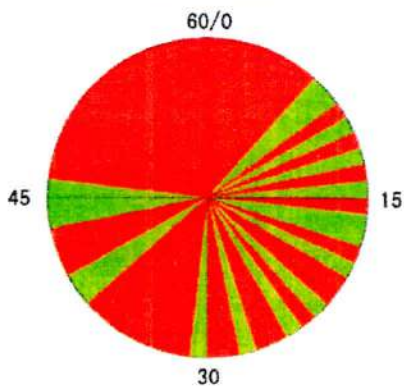
<脳波測定結果>

ノーマル分電盤+LEDライト

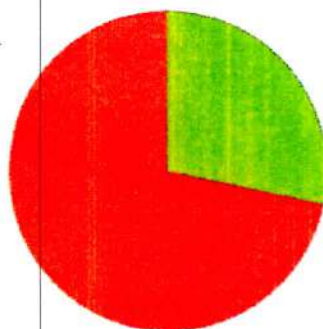
測定日:2016/12/28 測定時間:12:15:27



** 優勢脳波出現時間 **



** 優勢脳波出現率 **

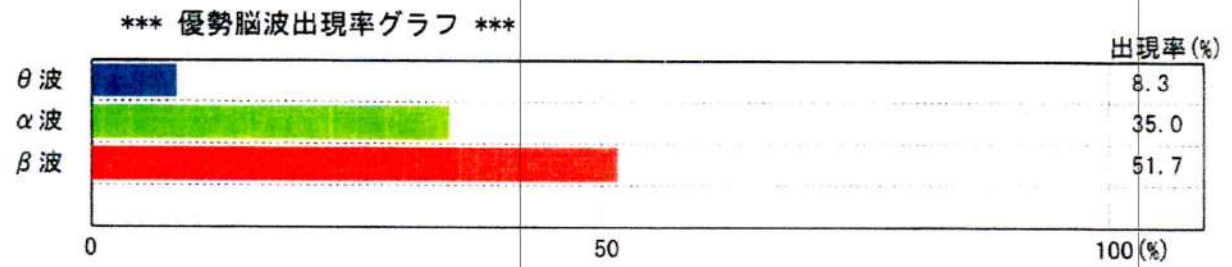
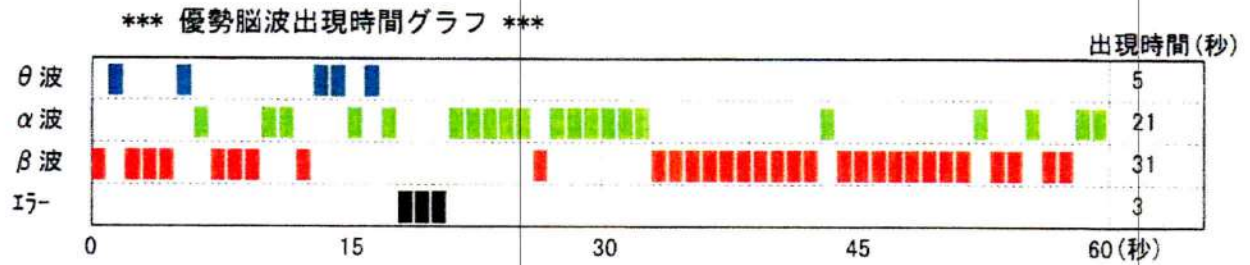
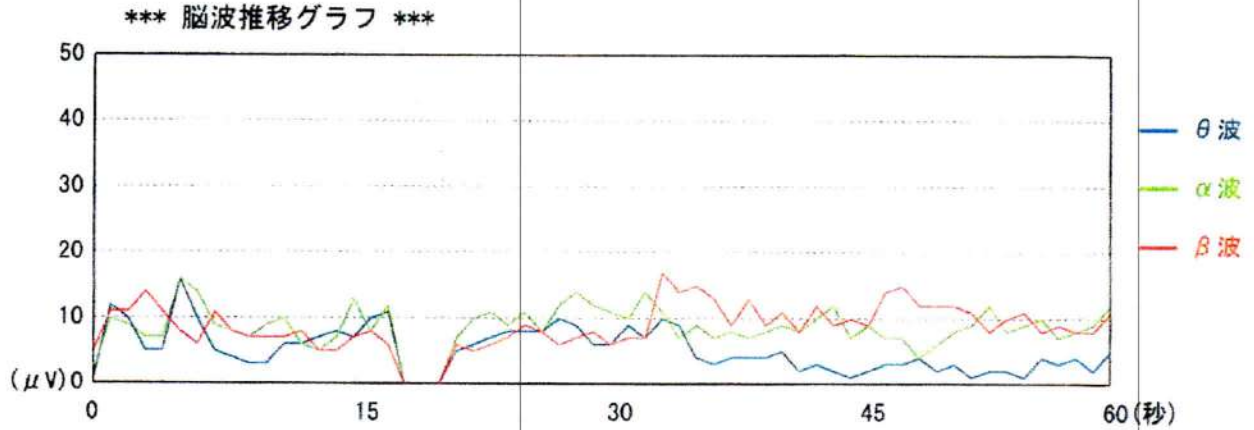


	出現率 %	MAX (μV)	平均 (μV)
〓波	0.0	17.0	10.1
α波	28.3	27.0	17.1
β波	71.7	27.0	18.5
I5-	0.0		

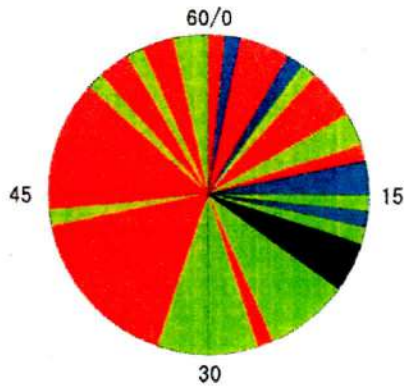
<脳波測定結果>

テラ加工分電盤+LEDライト

測定日:2016/12/29 測定時間:14:32:28



** 優勢脳波出現時間 **



** 優勢脳波出現率 **



	出現率 %	MAX (μV)	平均 (μV)
̑波	8.3	16.0	5.2
α波	35.0	16.0	8.7
β波	51.7	20.0	9.0
ɀ波	5.0		